

広報なすしおばら

# NASUSHIOBARA newsletter

8 / 5

August 2017 No.303



特集 **博 物 館**  
NASUNOGAHARA

9月24日まで那須野が原博物館で開催中の「大恐竜展Ⅱ」

市では目の不自由な人のために音訳版広報を発行しています。詳しくはシティプロモーション課までご連絡ください。

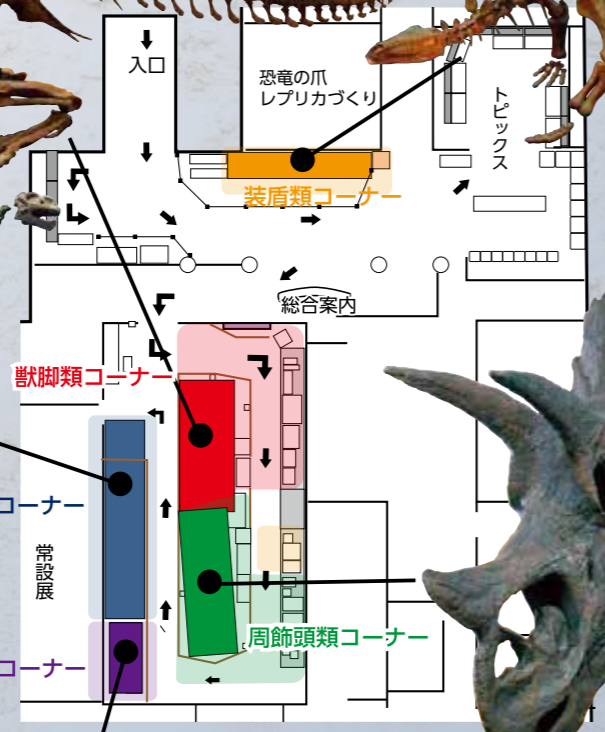
**獣脚類**  
タルボサウルス  
国立科学博物館蔵

**装盾類**  
トゥオジアンゴサウルス  
群馬県立自然史博物館蔵

**竜脚形類**  
マメンチサウルス  
群馬県立自然史博物館蔵

**鳥脚類**  
ラブドドン  
栃木県立博物館蔵

**周飾頭類**  
トリケラトプス  
三重県総合博物館蔵



開催まで何度も見直された会場のレイアウト。会場の至る所に恐竜の標本が展示されている



9月24日まで那須野が原博物館で開催されている大恐竜展Ⅱ。展示されている恐竜の大きな全身骨格は、息をのむほどの迫力だ。普段からさまざまなモノに光を当て、物語を紡ぐ地域の博物館。今回の特集では博物館そのものに光を当て、その物語を紹介したい。

じられるように試行錯誤した。標本のおおまかな寸法は資料から把握できるものの、体の伏せ具合や尻尾のうねり方などは実物を見ないと捉えきれない。そのため、休みの日に各地の博物館へ実物の標本を見に足を運んだという。

配置計画を何度も練り直し、恐竜の組み立て作業当日を迎えた。「組み立てられた恐竜がきちんと配置されるまでは、本当に不安で眠れないほどでした」。計画通りの場所にたまたまむ大迫力の恐竜たちに囲まれた彼の顔には、自然と安堵の笑みが浮かんでいた。

**太古から続く生命の連鎖**

約9千種。現在の地球上に存在する鳥類の種の数だ。1億年以上前から大きな絶滅期を乗り越え、少しずつ姿を変えながら絶えることなく命が繋がってきた。「私たちの身近にいるカラスやスズメなどの鳥も恐竜の一部と考えると、少し印象が変わりませんか」。同様に全ての生物は、太古の時代から連鎖と続く生命の連鎖の中に存在しており、その一部に私たち人間がいる。全ての生命は私たちと同じようにかけがえないものなのだ。大恐竜展を見ながら、命のつながりに思いを巡らせるのも一つの楽しみ方かもしれない。



多和田 潤治氏  
那須野が原博物館 学芸員

**進化の可能性に挑み続けた恐竜の生命力を感じて欲しい**

**描いたのは恐竜の多様性**

「なかなか見ることのできない恐竜の迫力を肌で感じて欲しい」。そう語るのは、今回の大恐竜展Ⅱを手掛けた多和田学芸員。7年前の恐竜展を終えた時から、もう一度開きたいと漠然と考えており、2年前から本格的に準備を積み重ねてきたという。

少し前までは絶滅したと考えら

**君だけの化石をゲットしよう 恐竜の爪 レプリカづくり**

- ▶開催日 土曜・日曜・祝日
- ※8月6日～27日は毎日開催。
- ▶時間 午前9時～11時30分、午後1時～4時
- ▶費用 100円～200円
- ※爪の種類は週ごとに替わります。
- ※当日の観覧券が必要です。



**体験者インタビュー**  
鈴木 晴路くん

恐竜が大好きで、白河市から来たという鈴木くん。制作した爪にあえて傷をつけ、恐竜が戦った跡を再現したという。開催期間中に「もう一度来たい」と話してくれた。



**完成までの試行錯誤**

5グループ全てを展示するにあたり障壁となったのは、展示スペースの問題だった。限られた空間で、標本の安全と来館者の動線を両立しつつ、恐竜と一体感が感じられてきた恐竜。しかし、最近の研究によって、鳥は恐竜の1グループであることが明らかになっている。「今回の恐竜展では、進化の過程で枝分かれした5つのグループ全てを展示し、恐竜の多様な姿と特徴をひと目で分かる内容にしたかった」。獲物を捕食するための鋭い歯を持ち、頭骨が異常に発達した恐竜や、捕食者から自分を守るため大型化した恐竜など。少しずつ枝分かれしながら、多様性が生まれていく様子が分かる内容になっている。

**那須野が原博物館**

- ▶住所 三島5-1
- ▶開館時間 午前9時～午後5時
- ▶観覧料 一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円
- ▶問い合わせ ☎0287(36)0949

# 恐竜の展示の裏側に迫る

大恐竜展Ⅱに展示されている巨大な恐竜の数々。

こんなに大きなモノはどこから運ばれ、どうやって組み立てているのだろうか？

今回は特別に恐竜の組み立て現場にカメラが潜入。その記録をここで紹介しよう。



## 5 骨の取り付け

フレームの台座に骨格を乗せ、ワイヤーで一つずつ固定していく。慎重な取り扱いが求められ、現場には緊張感が走る。



## 4 フレーム組立

まずは、元となる鉄製のフレームを組み立てる。フレームと骨格標本にそれぞれ番号が付されており、それを順番に合わせていく。



## 6 パーテーションの設置

化石の組み立て完了後、標本の安全と動線の確保を意識してパーテーションを設置。ずれないようにしっかりと固定する。



## 7 解説パネルの設置

最後に恐竜の解説が書かれたパネルを取り付けたら…

## 8 完成！

化石の組み立ての動画は下の二次元コードから



## 3 標本の位置だし

当初の配置計画をもとに、実際のサイズを確認しながら、微調整を繰り返す。数センチ単位での調整が行われた。



全ての骨がバラバラになっており、一つ一つをフレームに直接固定させていく必要がある。上の写真で見える骨の下にもさらに骨が一つの箱に詰められている。



## 1 標本を借り受ける

標本を所有する博物館へ実際に赴き、標本を借り受ける。今回は、三重県総合博物館・群馬県立自然史博物館・国立科学博物館・栃木県立博物館などから標本を借り受けた。



## 2 搬入された木箱を開封

ネジで厳重に塞がれた木箱から、化石を取り出していく。マメンチサウルスが収納されている箱には、「From Chengdu to Yokohama (中国・成都から横浜へ)」と書かれ、もともとは中国から輸入された標本であることが見て取れる。

## 那須塩原と化石

実は那須塩原市は、時代が異なる2種類の化石の産出地として世界的に有名な場所なのだという。1つ目はこの地域がまだ海底だった1200万年前の新第三紀の貝の化石。それらは「塩原動物群」と名称がつけられているほどで、他にも同時代のイルカやカレイの化石も見つかる。2つ目は30万年前の第四紀の塩原湖成層からとれる木の葉や魚、哺乳類の化石。湖の底は、細かい砂がゆっくり積もるため、表面の細部まで壊れることなく保存される。

それらの化石が有名になった理由は、化石研究の黎明期である1920年代には既にこの地域には多くの著名な古生物の学者が訪れ、研究が進められていたからだという。当時、塩原まで運航していた汽車に乗り、比較的容易に化石産地へアクセスできる立地が研究を後押しした要因の一つである。

## 今回化石の組み立てを担当した

中川 久雄 氏

(株)パレオサイエンス 代表取締役



化石を組み立ててこの道35年の大ベテラン。化石の販売から納入、組み立てまで一手に引き受け、骨を一目見れば、恐竜のどの部分かは大体把握できるという。「これほど多くの恐竜を地方で見られる機会は滅多にない。ぜひ多くの子どもたちに見てもらいたい」と話してくれた。





1月に開催された昭和のくらしを紹介する企画展で解説する金井館長

## 過去から未来へ

### モノと物語を引き継ぐために――

博物館といえば、一般的にモノが展示されている場所という印象が強いと思いますが、その裏側には地道な収集と研究が存在しています。優雅に泳ぐ白鳥が、目に見えない水面下で必死に水をかいているのと同じように、博物館で魅力的な展示がなされるためには、目に見えない日々の努力の積み重ねがあるのです。

#### 調査研究あつての展示

博物館といえ、一般的にモノが展示されている場所という印象が強いと思いますが、その裏側には地道な収集と研究が存在しています。優雅に泳ぐ白鳥が、目に見えない水面下で必死に水をかいているのと同じように、博物館で魅力的な展示がなされるためには、目に見えない日々の努力の積み重ねがあるのです。



金井 忠夫氏 那須野が原博物館 館長

#### モノがなければ博物館ではない

先人から受け継いだモノとそれにつわる物語を、次の時代の人たちへ引き継ぐこと。これが博物館が果たすべき最も重要な使命だと考えています。だからこそ、時の流れとともに風化してしまう貴重なモノを、博物館が収集し保存していく必要があるのです。博物館に収蔵されたモノはいわば公共の資産。将来を見据えて計画を立てながら地域の特徴的なモノを収集していき、社会があまりに急速に変化するために、収集が追い付かないのが現状です。

また、モノやその周辺の情報を調べ、明らかにすることも博物館の役割の一つ。例えば、昔の生活用具をはじめとする民俗資料などは、だれがいつ、

西那須野町郷土資料館時代から学芸員としてこの地域を見つめてきた金井館長。博物館の使命や担うべき役割について話を聞いた。



# 次の世代に遺産を引き継ぐ

地域の総合博物館として平成16年にオープンした那須野が原博物館。博物館といえば「モノが展示されている場所」というイメージが強いが、博物館の役割はそれだけではない。これから地域の博物館のあり方を探っていきたい。

#### 博物館が担う使命

那須野が原博物館は県内で唯一市町が独自で設置している総合博物館である。総合博物館とは、歴史・民俗・考古・文学などの人文分野と、地質・動物・植物などの自然分野の両方を取り扱う博物館のこと。平成5年に前身である西那須野町郷土資料館が焼失した後に、この地域に総合博物館を設けたいという市民の機運が醸成。平成16年に晴れてこの地域に総合博物館がオープンした。

標高差に富む地形が織りなす多様性に富んだ自然。その自然の中で生きるために少しずつ育まれてきた人の文化。それらは、複雑に絡み合いながら、現在の私たちの生活に空気のように息づいている。

「自然対「人間」という構図で捉えるのではなく、自然の中に人間がいるという視点。この博物館が探求しているのは、那須野が原という大地を舞台に繰り広げられる自然と人の営みの全てだ。この地域がまだ海の底だった時代から現代に到るまでの全ての時の記憶を掘り起こし、次の世代に引き継ぎようとする博物館の挑戦に終わりは無い。

市民の後押しを受けて設置された地域型総合博物館。普段は語られることのない博物館の裏側に少し光を当ててみる。

学校支援ボランティアとして35年の長きにわたり活動する「石ぐら会」。会長を務める若月氏がこれからの博物館に期待する事とは…

#### 知的好奇心を満たす場所

私にとつての博物館は、自分が知らない世界を見せてくれる場所。いつも知的好奇心を刺激してくれます。私は、退職後に埼玉県から那須塩原市に移住してきましたが、以前は、東京の博物館を巡るのが好きで、頻りに足を運んでいましたね。

13年前に那須野が原博物館を始め知ったとき、地方にもこんな素晴らしい博物館があるんだと正直驚きました。郷土資料館は各地にあります。これほど充実した総合博物館は、なかなか無いと思います。

#### 今では生きがいの場所に

また、博物館を中心に多くの自主団体が活動しているのも魅力の一つで、私も学校支援ボランティア「石ぐら会」で活動しています。博物館を授業で訪れる子どもたちに展示を解説したり、週末の親子体験チャレンジで昔のおもちゃの作り方を教えたりと非常に充実した生活です。今や博物館は「私の第二の

### 魅力的な博物館 課題は発信力――

仕事場「みたいな感覚で、自分のやりたいことができる場所になっています。

#### まずは知ってもらうこと

活動をしていく中で、博物館の「発信力」不足を感じることがありました。親子体験チャレンジも一昨年末までは定員に達しなかった回もありましたが、募集案内の配布方法を変更したことで今では毎回満員です。せっかく素晴らしい活動をしているのに、知ってもらわなければ宝の持ち腐れ。広報活動を工夫し、いろんな人に知ってもらうことで、博物館の価値はさらに高まると思います。



若月 延雄氏 石ぐら会 会長



①同じ種が整列されたチョウの標本。②トンボの標本は翅を閉じた状態で保存される。③棚に丁寧に平積みされた植物標本。①～③の一つ一つに採集日と場所、採集者が記載され、地域の生物の生息状況を示す貴重な証拠となっている。④古文書などは中性の紙と箱に包まれて、一つ一つ小分けに保存されている。⑤特別収蔵庫は木製の棚となっており、より厳格な温湿度管理が必要な品々が収蔵されている。

# 地域の未知を

## 解き明かす

地域遺産の収集・調査により、積み重ねられる地域の知の集合体。山に降った雨の一滴一滴がやがて大きな川になるように、モノとモノが結びついて描かれる物語は、時とともに少しずつ形を変えながら今日もこのまちに流れている。

### 着々と増える収藏品

那須野が原博物館の収藏品の数は約7万8千件。着々と地域遺産が蓄積され、開館から5年後の平成22年時点と比べると登録数は2倍以上に増加している。保管には一定の温度・湿度が求められる。収蔵庫の確保は課題の一つである。収藏品の内訳は、昆虫を含む「動物」分野が約4万件と最も多く、「歴史」分野が1万9千件と続く。歴史分野では、那須野が原開拓に関する資料の収集が重点的に進められている。

### 資料から紐解かれる歴史

かつて「手して掬う水もなし」と描かれるほど不毛の大地であった那須野が原。この土地が転機を迎えたのは明治時代。数多くの欧米型大規模農場の誕生と、それに続く国家プロジェクト「那

須野が原開拓」の実施に端を発する。

その原動力となったのが土地の有力者・印南文作と矢板武。彼らが設立した那須開墾社や栃木県令・三島通庸みちのりによる三島農場など、開拓を進めた農場の文書が博物館には多数収蔵されている。那須開墾社文書や三島家文書と呼ばれるそれらの古文書は、博物館の貴重なコレクションの一つであり、現在も地道な研究が進められている。

来年開催予定の特別展「華族たちの那須野が原農場プロジェクト」では、ペリー来航以降の日本の西洋化の流れと、この地域で設立された大規模農場の関連などを紹介する予定だ。

### 知ることで広がる視点

明治時代、牛肉と同様に文明開化によって生活に浸透していった牛乳。明治4年には、天皇が牛乳を飲んだこと

が報じられるほど珍しい飲み物だったという。現在この地域を特徴づける酪農業は、明治期の開拓にその萌芽が見て取れる。高橋由一の『鑿道八景』には、三島農場で牛が放牧されていた様子が描かれており、那須開墾社文書には明治初期に塩原温泉の旅館へ牛乳を配達した記録が残されている。そして、現在は生乳生産本州一のまちである那須塩原市。百年以上前の人の営みが、今も空気のようにこの地域に息づいていることが伺える。

地域の遺産を収集し、日々地道な調査研究を進めている博物館。それを組み合わせて展示し、私たちに新たな物語を紹介してくれる。その物語に触れた後には、これまでとは違ったモノの見え方が得られることだろう。



那須野が原開拓の歴史は博物館の常設展でも解説されている。住んでいるのに意外と知らない、地域の新しい一面を知ることができる。

来 9月15日  
年 11月15日  
特別展  
華族たちの那須野が原  
農場プロジェクト



高橋由一 鑿道八景



千本松農場の  
トラクター



大山農場の牛舎と牛  
来年の開催に向けて少しずつ準備が進められている。開催は2カ月間だが、それまでに膨大な準備期間があるのだ。

翌 2月1日  
翌 2月28日  
ギャラリー展  
那須塩原市  
レッドデータブック  
2017



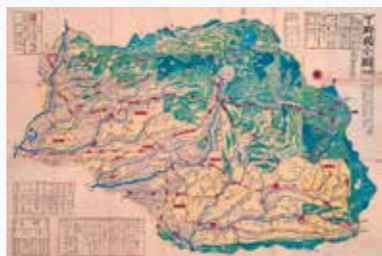
この地域で絶滅のおそれがある希少野生動植物をまとめた「那須塩原市レッドデータブック」。その刊行を記念して、博物館のエントランスギャラリーで作成の背景や市の地形の概要、選定結果の一覧などを紹介し、選定種や保全すべき地域などを解説します。

12月23日  
翌 4月15日  
移動展  
みんなの  
鉱物大百科



県内にかつて多くあった鉱山。そこで採掘された鉱物には、世界で初めて発見された新産鉱物や、世界的に希少な鉱物なども含まれています。今回の展示では、世界や県内で産出する代表的な鉱物の特徴や分類、産出場所、精錬方法などを紹介します。(写真：方解石、栃木県立博物館蔵)

10月7日  
12月10日  
企画展  
あなたの知らない  
古地図の世界



人々の生活や地形、街の移り変わりなど歴史とともに変わっていく地図。幕末期から昭和期までの地図を「古地図」と捉え、世界・日本・栃木の範囲別のコーナーと鉄道・温泉・お店など目的別のコーナーに分けて紹介します。もしかしたらあなたが知っている「地図」とは違う世界が広がっているかもしれません。

ふるさと  
地域を知る旅に出かけよう！



# 夏だ！ プールへ行こう

家族みんなで楽しめる  
**那須野が原公園  
ファミリープール**

緑豊かな自然に囲まれて、ウォータースライダーや流れるプールなど5つプールが楽しめます。今年は30周年の記念イベントが目白押し！ みんなで遊びに出かけよう。

▶とき 午前9時～午後5時(入場は午後4時まで)  
▶料金  
○幼児(3歳以上) 200円 ○小・中学生 410円  
○高校生 920円 ○大人 1,130円  
○シニア(65歳以上) 510円  
※午後3時以降は入場料2割引。  
▶期間 8月27日(日)まで  
▶問い合わせ 那須野が原公園 ☎0287(36)1220

8/7-10 クイズラリー 8/19 宝探し 8/23 入場料半額



公園隣接自然に囲まれた屋外プール  
**那珂川河畔公園**

▶とき 午前の部…午前9時30分～午後0時30分  
午後の部…午後1時30分～4時30分  
※8月1日(火)は清掃のため休館。  
※天候により臨時休館になる場合があります。  
▶料金  
○幼児 無料 ○小・中学生 100円  
○高校生以上 300円 ○65歳以上 150円  
▶期間 8月31日(日)まで  
▶問い合わせ 那珂川河畔公園プール ☎0287(63)0876

アクセス抜群 全天候型屋内プール  
**にしなすの運動公園**

▶とき(毎週月曜と年末年始は休館)  
午前の部…午前9時30分～午後0時30分  
午後の部…午後1時30分～4時30分  
夜間の部…午後5時30分～8時30分  
▶料金 ○幼児 無料 ○小・中学生 150円(100円)  
○高校生以上 400円(300円) ○65歳以上 200円(150円)  
※8月末までは( )内の料金。  
▶期間 通年  
▶問い合わせ にしなすの運動公園 ☎0287(36)4785

料金最安値の穴場スポット  
**塩原B&G海洋センター**

▶とき  
午前の部…午前9時～正午  
午後の部…午後1時～4時  
夜間の部…午後5時～8時  
※毎週月曜休館。 ※9月以降は午前の部は休み。  
▶料金 ○幼児 無料 ○小・中学生 100円  
○高校生以上 200円 ○65歳以上 100円  
▶期間 10月31日(火)まで  
▶問い合わせ 塩原B&G海洋センター ☎0287(32)5255

01

市役所よりも手軽に  
コンビニで証明書が取得できます



利用には、事前に利用登録をした住民基本台帳カードまたは利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードが必要です。  
▶取得できる証明書 各200円  
住民票(謄本・抄本)、印鑑登録証明書、所得証明書、所得課税証明書  
▶取扱い店舗  
セブンイレブン、ローソン、サークルKサックス、ファミリーマート、ミニストップ  
▼問い合わせ  
☎市民課 ☎0287(62)7132

03

みるひいが市のPRキャラクターに  
任命式が行われました



生乳生産本州一の那須塩原市。その生乳の消費拡大をPRするために平成17年に誕生し、12年にわたって活動を続けてきた「みるひい」が、7月から市のPRキャラクターになりました。  
7月21日の任命式で君島市長から任命書が手渡されると、「とてもうれしいモ〜」と喜ぶみるひい。今まで以上に幅広い舞台で、那須塩原の魅力をもっとPRしていく予定です。  
▼問い合わせ ☎シティプロモーション課 ☎0287(62)7109

02

適正で優秀な工事を行った  
優良建設業者を表彰



市は、建設業者の技術向上と工事施工の適正化のため、建設工事を優秀な成績で完成させた建設業者を表彰しています。  
平成28年度に竣工した建設工事のうち、8件7社を表彰しました。  
▶表彰業者  
(株)谷黒組、(株)泉谷興業、丸山重機(株)、(有)扇屋建設、福田建設(株)、石川建設(株)、高野建設(株)  
▼問い合わせ  
☎契約検査課 ☎0287(62)7115

04

市内全ての農地が対象  
農地の利用状況調査に協力を



農業委員会では年に1回、市内全ての農地の利用状況を確認しています。  
次の期間中、調査員証を携帯した調査員(農地利用最適化推進委員など)が現場を確認するので、調査に協力をお願いします。  
※基本的に立ち合いの必要はありませんが、状況によっては持ち主に聞き取りなどを行う場合があります。  
▼調査期間 8月22日(火)～9月30日(土)  
▼問い合わせ ☎農業委員会事務局 ☎0287(62)7185



## 身近な水の中には何がいるのかな ～水の生き物調査隊～

意識して自然に目を向けないと、身近にどんな生き物が生息しているのかわからないものです。7月8日に開催された「水の生き物調査隊」で、市内親子48人が鳥野目河川公園内の生き物を調査しました。県内で減少傾向にあるヒガシシマドジョウ、環境省レッドリストで準絶滅危惧種に分類されるトウキョウダルマガエル(写真)、特定外来種のウチダザリガニなどの観察を通して、参加者は固有種や生態系を守ることの大切さを学びました。



## 不浄を焼き尽くして 厄除け・開運 ～金乗院 火まつり～

燃え盛る炎に無病息災を祈る火まつりが6月28日、沼野田和の那須波切不動尊金乗院で行われました。参拝者が心待ちにしていたのは、湯加持や火渡りと呼ばれる荒行。長濱住職が「エイッ!」との掛け声とともに、湯加持で熱せられた釜の湯に入って経を唱えたり、火渡り(写真)で炎の中を歩くと、周囲から盛大な拍手が湧き起こりました。その後、参拝者も燃え跡を裸足で歩き、振る舞われた薬湯を飲んで1年の健康などを祈願しました。



黒磯師団

塩原師団



- ↑ 訓練の成果を存分に披露する選手たち
- ↑ 間近で見る防災ヘリの雄姿に、会場の目は釘付け。
- ↓ 上手に水を的へ当てられるかな?



西那須野師団

## 速さ、正確さ、そして気迫で勝負 ～消防操法競技会～

毎年夏に開催される消防団の消防操法競技会。今年も6月18日、25日、7月1日の3日に分けて、那須塩原消防団の黒磯、西那須野、塩原の師団ごとに競技会が行われました。

会場では、歯を食いしばって全力疾走する選手に向かって、仲間たちや観客から熱い声援が送られました。

また、6月25日にはくろいそ消防まつりが同時開催され、防災ヘリコプターのパフォーマンスをはじめ、多くの催しで訪れた人々を楽しませていました。



## 塩原で詠んだすべての歌を紹介 ～与謝野晶子・寛展 開催～

塩原の歴史や文化、文学などを紹介している塩原もの語り館は、今年で開館15周年。これを記念して来年1月7日まで「鹽原遊詠 与謝野晶子・寛展」が開催されています。与謝野晶子・寛(鉄幹)夫妻が塩原で詠んだ135首の短歌や貴重な資料が紹介されているほか、期間中は8月21日午前10時からの「与謝野晶子の絵本や童話の読み聞かせ」をはじめ、多くのイベントが開催されます。詳しくは、塩原もの語り館(☎0287-32-4000)まで。



## うまく紙に写るかな ～リンツ市芸術家 木版画体験教室～

本市とオーストリア共和国リンツ市が姉妹都市となって1年が経ちます。これを記念して、リンツ市在住の芸術家フェリクス・ディーックマン氏を招待し、木版画展(市内芸術家との交流展)が那須野が原ハーモニーホールで開催されました。

また、併せて7月16日にはディーックマン氏を講師として木版画体験教室が行われ、多くの親子が参加。木版をカッターで削り、油性絵具で彩色して、彫った絵を紙に写し取る工程を楽しみました。



## 己の限界までベストを尽くして ～関東学生トライアスロン選手権～

6月25日、戸田調整池周辺で関東学生トライアスロン選手権が開かれました。今年で20回目となり、大学生の男女303人が参加。スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの合計タイムを競いました。日々厳しい練習に耐えている学生たちも本番は特別なもの。その日のコンディションもそれぞれが異なり、ベストタイムを出す選手もいれば、途中で惜しくもリタイアする選手も。選手が皆、懸命にゴールを目指す姿に沿道から多くの人が熱い声援を送っていました。

↓後出しジャンケンで脳を活性化。認知症予防にもつながる



## 誰もが安心して暮らせるまちとは ～認知症サポーター養成講座～

東三島自治公民館で6月23日、認知症サポーター養成講座が行われ、小学生～70代の計58人が受講しました。この講座は、認知症を学び、認知症の人と家族の応援者となるサポーターを増やすためのもの。全国のサポーター数は6月末時点で906万人を数えます。自治公民館を使って自由に受講者を募る講座の開催は市内初で、ゲームなどを交えた認知症のメカニズム解説なども好評。受講後にはサポーターの証・オレンジリングが配られました。

## Interview 2

元気な地域を陰で支える人たちがいる  
介護予防サポーター養成講座をスタートします

いくつになっても健康で充実した生活を送りたいというのは誰しも願っているでしょう。年齢とともに老化は訪れますが、運動習慣などを身につけることで遅らせることができるため、地域や団体で健康づくりに取り組む動きが広がっています。そのきっかけの一つとなるのが「介護予防サポーター」です。

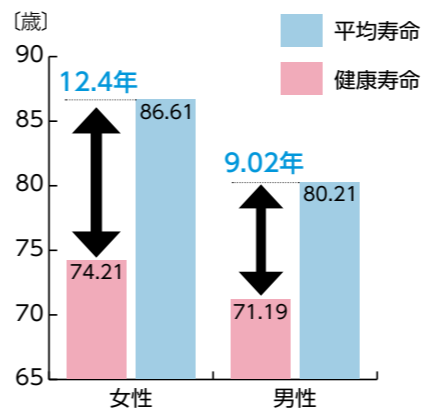
楽しく生きるコツが「健康寿命」

高まる地域の「健康熱」

健康教室が毎日にぎわう松浦町自治会

「健康寿命」とは、介護を必要としないで自立した生活ができる期間を指します。平均寿命より健康寿命が短くなっているということは、加齢とともに生活の質を維持するのが難しくなるということです。

健康寿命を延ばすためには、元気づちから運動習慣を身につけ、予防をしていくことが重要です。



出典：厚生労働省「健康日本21(第二次)各目標項目の進捗状況について」

市内には地域の皆さんが集まって体操や体力測定などを行い、地域をあげて健康づくりに取り組んでいる団体・自治会があります。ここでは、地域の皆さんを集め、健康教室などを運営する「介護予防サポーター」が活躍している地区があります。

火付け役の介護予防サポーター

介護予防サポーターの役割の一つは、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活していくために、住民の居場所づくりを行うことです。具体的には、高齢者が「いきいき百歳体操」やレクリエーションなどを定期的に行えるよう、参加者と協力しながら運営していきます。※いきいき百歳体操とは、高知県で始まった100歳になっても足腰の痛みと無縁の万能体操のこと。



松浦町介護予防サポーター

### 「百歳体操」の効果を 実感する声が増えて嬉しいです

福地 友子さん

「自治会内に住み、高山さんと40年ほどの親交がある福地さん。昨年の養成講座の案内を見て、高山さんと相談し、2人で受講を決めました。福地さんは、「地域の人の理解や協力があるから苦勞を感じたことはあまりない」と言います。回を重ねるごとに自治会の協力が積極的に動いてくれるようになったようで「やってよかった」と、福地さんが来た時には準備が済んでいることも多いそうです。一方、教室を始める際に不安だったことを尋ねると、「講座を始めても、参加者が集まらなかったらどうしよう」という思いがありました」と当初の記憶を振り返り、「以前から町内で健康づくり活動をしてきた人たちに協力してもらおうと思いましたが」と付け加えました。試しに百歳体操を体験してもらい、その良さを直接地域の高齢者に伝えてもらうこと、さらには教室開催にあたっての案内の通知も行うなど、体操の効果を重ねてPR。こうした工夫があった、現在のにぎやかな健康づくりの場ができたのです。教室が始まって2カ月あまり経過し、参加者から「百歳体操をするようになって体の調子が良くなったよ」と声をかけられることもあるという、「教室を始めてよかった」と実感する瞬間です」と微笑む福地さん。「サポーターとしてまた来たい」と思ってもらえる教室づくりを心掛けています」と、教室運営への思いを話してくれました。



①最近夫婦での参加も増加中 ②サポーターが出席簿をつける。出欠を記録することで一人世帯の見守りにもなっている ③健康状態に合わせて、おもりを付けて体操を行う ④介護予防の観点から、足腰を中心に鍛えるメニューが多いのも百歳体操の特徴 ⑤和気あいあいとした雰囲気の中、自分のペースで体を動かす参加者



### 介護予防サポーターになってみませんか

団体や自治会で健康づくりを行うサポーター養成講座を開催します。

講座内容	西那須野保健センター 午後1時30分～3時30分	いきいきふれあいセンター 午前10時～正午
講話:市の介護予防の取り組み 実技:「いきいき百歳体操」の体験	8月30日(木)	10月5日(木)
講話:「いきいき百歳体操」の講義 実技:「体力測定」をしてみよう	9月6日(木)	10月12日(木)
講話:認知症に関する理解・対応	9月27日(木)	11月2日(木)

※期間中に実施地区の見学も行います。

▶申込開始日 8月10日(木) ▶定員 各会場30人

### 百歳体操を取り入れてみませんか

地域で集まる場、機会を作りたいがどうしたら良いかわからない…そんなとき、いきいき百歳体操を取り入れてみませんか。

特典① 講師の派遣(3回程度)

特典② DVDの貸し出し

▶募集条件 以下の条件を満たし、自主的に集まって活動できるおおむね10人以上のグループ

- ①体操を週1回、3カ月以上続けられる
- ②椅子、DVDが観られる環境、おもりを自分たちで準備できる

▶申し込み・問い合わせ 高齢福祉課 ☎0287(62)7327

松浦町介護予防サポーター  
高山 綾子さん  
(松浦町自治会長)

地域の人たちに  
長く元気で暮らしてほしい

自治会長という立場から地域住民の健康を誰よりも気にかけて高山さん。「町内では高齢世帯も多いので、年をとっても元気で暮らせるよう、地域として何かできないかと考えていました」。そんなとき、市から介護予防サポーター養成講座の案内があり、受講を決意。町内をあげて健康教室の実現を目指す中、大変だったことを尋ねると、「最初は反対意見もありました。でも地域の健康を守るためには必要だと思っていたので、何度も話し合いの場を持ちました」と、地域住民の

ためには苦勞を惜しみません。そんな努力の甲斐があって教室開催にこぎつけると、予想を上回る30人が参加。今でも毎回会場が満員になります。開催を待ち望む声も多く、「楽しみながら健康づくりができる場を作れてよかった」と語ってくれました。

高山さんもメンバーの一員として百歳体操で汗を流す

## Interview 1





## 全国制覇を成し遂げた スーパー高校生棋士

# 一手一手 広く深く

藤井聡太四段が公式戦29連勝という記録を打ち立て、巻き起こした将棋旋風。天才と目される彼も幼少期は数多くの負けを経験し、その悔しさを糧に努力を重ねてきたという。

市内にもそんな藤井四段のように敗北の悔しさをバネにして、数々の将棋大会を制覇してきたスーパー高校生棋士・阪本駿さん(3年)がいる。昨年8月には、**全国高等学校将棋選手権大会で東京の名門進学校・開成高校や麻布高校を抑え、見事優勝を果たした。**今月中旬には、**高校生活最後の全国大会に挑む。**彼の将棋にかける思いを聞いた。



得意な戦法は三間飛車。飛車を角側に移動させた上で攻めを展開していく



大会で優勝し、獲得した扇子。「飛躍」と広瀬草人八段の自筆サインが書かれている

パチン

畳張りの部屋の静寂の中、数十秒おきに駒を指す音が響く。盤に真剣なまなざしを向ける阪本さんは「将棋は一手で勝敗がひっくり返ります。いかにあらゆる先の手を読んで、今必要な最善の手を指すか、それが将棋で勝つための鉄則なんです」と口を開いた。

彼が将棋を始めたのは5歳のとき。アマチュア四段の父に、遊び感覚でルールを教わったのがきっかけだった。

「将棋は難しいというのが第一印象でした。駒によって役割が違うし、広く手を読む集中力も求められますから……。ただ、局面が毎回異なり、飽きずに楽しめる将棋の奥深さを知って、どんどんのめりこんでいきました」。

そんな少年は小学校に入学後、将棋教室に通い始め、次第に頭角を現していった。

「通い始めた当初は全く勝てず負け続けてました。自分の力不足と分かっても悔しくて、トイレでこっそり泣いては顔を洗ってごまかすこともありました。とにかく自分の納得いく将棋を指して勝利をつかみ取りたい。そのた

めに、教室の師匠に教えを乞い

り、プロの棋譜を必死に覚えた。積極的に格上の相手に挑んだり……。常に将棋のことばかり考えてきたと思います」と、これまでの12年間を振り返った。彼は敗北の悔しさを日々の努力に変えることで、数々の大会で結果を残すまでに成長していった。

中でも彼が印象的と話すのは、昨年8月に優勝した全国高校将棋選手権大会。「将棋の強豪校に入学したのは全国制覇が目標だったから」という言葉からも、大会にかける熱が伝わってきた。

「1年のとき、2年の先輩2人と団体で全国制覇を目指したのですが、準々決勝で東京の麻布高校に敗れてとても悔しい思いをしました」。何がよくなかったのか、自分だけでなく仲間とも研究を重ね、1年後にリベンジに臨んだという。2回戦で麻布高校と当たったが、前回の教訓を生かして一手一手大切に指すことを心掛け、見事快勝した。

「決勝で先輩がぎりぎりの対局を制してくれた瞬間、何にも代え難い喜びと感動で包まれていたのを記憶しています。あのメンバーで目指す最後のチャンスですから、それを見事ものにできたあの日は「将棋をやってて本当よかった」と実感した一日でした」と笑顔で語った。

今月中旬には個人戦で高校生活最後の全国大会に臨む。「対局中は誰にも頼ることができず、目の前の駒と向き合うしかありません。会場の雰囲気にもまれないよう、自分の将棋を指せるように一日一日を大切にしていきたい」と駒が並んだ将棋盤を眺めた。日々の将棋の練習メニューには、詰将棋やAI(人工知能)を用いたゲームも取り入れているとのこと。

※2 盤上に並べられた駒の局面から、相手の王将を詰める手順を考えるパズルのようなもの。終盤の攻め方の戦術力が鍛えられるという。

※1 対局で互いの対局者が行った手を順番に記入した記録のこと。



阪本 駿さん (17)  
文星芸大付属高等学校3年。関東・全国規模の数々の大会で上位入賞を果たす。礼節を重んじる面も将棋の好きなど。段位は四段



**昔のあそびって楽しいね**  
～関谷小 ふるさとふれあい学習会～

6月28日、地域と学校が連携して3世代が交流する「ふるさとふれあい学習会」が関谷小学校で開かれました。1～6年生で構成される12グループに分かれて、メンコやコマ、あやとりなど昔の遊びや団子づくりに挑戦。普段は遊ぶ機会の少ない昔のおもちゃを、地元の高齢者の人たちに教えてもらい、児童は夢中になって遊んでいました。地域の人たちも懐かしいおもちゃに触れ、昔を思い出しながら児童との交流を楽しみました。



**短冊に願いを込めて**  
～西小 七夕集会～

西小学校で恒例となっている七夕集会が、7月7日に行われました。1～6年生で10人ほどの班をつくり、1週間ほど前から準備してきた短冊や色とりどりの折り紙の輪などを笹に飾り付け。笹の高いところは高学年の児童がリーダーシップを取って積極的に飾り付けを行い、班の中で協力し合う様子が各所で見られました。飾りつけた笹が一堂に校舎内の廊下に並べられると、児童はそれぞれの笹を見て回り、学年を越えた交流を楽しんでいました。



**身近な問題をみんなで考える**  
～日新中 日新サミット～

自分たちの身の回りの問題を子どもたちと地域の大人たちが一緒に考える日新サミットが、7月7日に開催されました。今回のテーマは「ふるさと」。日新中・豊浦小・鍋掛小の子どもたちや保護者などが自分たちの「ふるさと」をよくしていくにはどうすればよいのかを真剣に議論。PR動画の制作や地域を知るための勉強会の開催など、さまざまなアイデアが出されました。今後は半年後に開催予定のサミットに向け、内容を更に検討していくことになっています。



**英語で交流してみよう**  
～波立小 グローバルタイム～

「小規模特認校の強みを生かし、世界に通用する人材を育てたい」。コミュニケーション能力の育成を図るため、6年前から始まったアジア学院の学生との交流会が、6月27日に波立小学校で行われました。英語の名刺を交換し、「what sport do you like? (何のスポーツが好き?)」など子どもたちから学生へ質問。返答は英語にもかかわらず、大体理解できているようで頼もしい限りです。世界へ羽ばたく人材が一人でも多く生まれて欲しいものです。

**大人への第一歩を踏み出そう**  
～社会体験活動 マイ・チャレンジ～



市内の中学2年生が5日間、社会体験活動に挑戦。地域の人々の協力のもと、生徒は働くことを通して感謝の気持ちや礼儀を学びました。また、学校を離れて活動した今回の経験は、自分自身の将来を考える有意義な時間になったことでしょう。

千本松牧場で活動した塩原小中学校の野口 翔吾さんは「世話をするとき最初は緊張で慌ててしまい、牛も怖がっていました。でもこちらが落ち着いて接すると気持ちが通じ合えたようで相手も安心した様子。動物飼育員になりたいという思いが強くなりました」と話しながら牛の頬をなでました。

西那須野中 高橋 舞葉 さん  
「言うことをなかなか聞いてもらえないのが大変」と話す高橋さん。「でも園児たちが朝登校してくると『先生おはよう』と元気いっぱい笑顔で声をかけてくれるのが嬉しい」と働く喜びを実感した様子でした。



西那須野幼稚園

**フラワーガーデン四季**



西那須野中 伴 那津実 さん  
「花の水やりは簡単なことだと思っていたけど、花の種類やその日の気温によって水の量や頻度も違うと知りました。水やりを覚えるだけでも3年かかるそう」と花を育てる大変さを話してくれました。

厚崎中 花塚 純世 さん

「座敷の接客でお客さんにラーメンを出すとき、膝をつかずに接客をしてしまって怒られました」と失敗談を一言。「常に相手の立場にたつことの大切さを教わりました。今後も気配りを意識していきたい」と続けました。



森商店



↑年長の太鼓演奏。両親の前で元気に練習の成果を披露 →音楽に合わせて親子で仲良くダンス ▶「パパ見て、花火だよ」  
↓好評だった金魚すくいならぬ「光るおもちゃ」すくい



**夏だ! 親子で暑さを吹き飛ばそう**  
～わかば保育園 夏祭り～

ジリジリとした日差しが残る7月7日の夕方、わかば保育園で恒例の夏祭りが行われました。年長・ぞう組の太鼓演奏を皮切りに、親子踊り、くじ引きや出店などを楽しむ園児の声で会場は終始にぎやか。スタンプラリーでは、仮装した園職員から4つのスタンプを集めると景品としてシャボン玉がもらえ、その場で飛ばし始める子もいました。目玉はナスライガーによるショー。園児の夢を奪うために現れた怪人を相手に、最後は勝利をつかみ取るご当地ヒーロー。祭りの最後に花火が20発打ち上げられると、園児は「わあ～」という歓声をあげていました。

→怪人の技に倒れるナスライガー。「がんばって」と必死に声援を送る園児の表情は、とても純粋で微笑ましいものです





# お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。  
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。  
※今回の読者プレゼントはお休みします。いただいたハガキは次回の抽選で反映させていただきます。

◆7月広報を読んで交通事故のことが細かく書かれてあり、ためになりました。私は85歳まで車を運転していましたが年々の免許を返納し、今は不自由しています。  
グランドゴルフに出掛ける際など、電動車を買って乗ることを介護の方に相談していましたが、高齢の交通事故のを知り、電動車に乗るのをやめました。

◆K・Sさん(鍋掛)50代男性  
◆ゆ〜バス！ いつも気になっていました。どこを走っているのか？ バス停はどこにあるのか？ 時間は？ 利用したいけどできないのが本音です。私の母もゆ〜バスは時間が合わないと言ってタクシーを利用していただきます。乗車率のいいゆ〜バスにしたいですね。

◆ゆ〜バス！ いつも気になっていました。どこを走っているのか？ バス停はどこにあるのか？ 時間は？ 利用したいけどできないのが本音です。私の母もゆ〜バスは時間が合わないと言ってタクシーを利用していただきます。乗車率のいいゆ〜バスにしたいですね。

◆特集「バス」といつまでも興味深く読ませていただきました。私は車を持たないので毎日のようにバスを利用しております。都会に比べ本数も少なく不便ですが、唯一の移動手段なので、これからもゆ〜バスをなくさないでください。  
S・Kさん(下永田)60代女性  
◆ゆ〜バス！ いつも気になっていました。どこを走っているのか？ バス停はどこにあるのか？ 時間は？ 利用したいけどできないのが本音です。私の母もゆ〜バスは時間が合わないと言ってタクシーを利用していただきます。乗車率のいいゆ〜バスにしたいですね。



スマートフォンなどからの応募はこちら

## Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 表紙         | 2. 特集         |
| 3. 行政 info    | 4. タウントピックス   |
| 5. 子育て連絡帳     | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより      | 8. 図書館へ行こう！   |
| 9. お便りBOX     | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然   | 12. 編集後記      |
| 13. げんきびと     | 14. ものづくり若人   |
| 15. 私のまちの近い遺産 |               |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

◆乳幼児健診の大切さを知ってほしい。以前の広報誌には乳幼児の健診日、会場が月ごとに載っていました。今年は削除され、市役所に理由を伺ったら本人あてに通知が届くので掲載していないとのこと。指定された

◆毎回写真の美しさに関心いたします。迫力をとも感じることにできます。2回の配布を楽しみにしています。  
A・Kさん(東赤田)70代女性  
◆表紙のヤマセミのお魚をプレゼントする写真とてもステキです。美しい自然のあるポイントをいくつか回って写真を撮るツアーなどあっても楽しいでしょうね。市民の方も一緒にに行けるなんてのも楽しいと思います。  
Yさん(西三島)60代女性

◆表紙のヤマセミのお魚をプレゼントする写真とてもステキです。美しい自然のあるポイントをいくつか回って写真を撮るツアーなどあっても楽しいでしょうね。市民の方も一緒にに行けるなんてのも楽しいと思います。  
シノさん(鍋掛)50代女性

その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

## 図書館 HP



# 図書館へ行こう！

暑い日には、涼みがてら、図書館で読書はいかがですか？



## NEW!



【初心者のハーモニカ基礎教本】  
編集:田中 光栄 自由現代社  
ハーモニカ選びから、吹き方、テクニック、そしてメンテナンスまで。みんなが知ってるレッスン用の曲も8曲あり。楽しみながらトライできます。

すぐに始められる大人のための入門書！



【孫子の兵法】  
著:孫武 編訳:青柳 浩明  
日本能率協会マネジメントセンター  
兵法書ではあるが人生の戦い方やビジネスに置きかえ、今も充分に使えるのがこの兵法書。また軍師としての孫武にもふれています。

中国の古典「孫子の兵法書」の現代翻訳



【母への100の質問状】  
著:森谷 雄 SBクリエイティブ  
映画・ドラマのプロデューサーである50歳の息子が母に問う100の質問状。母に問う事はつまり自分を問うことでもある。家族の過去から未来へ向けて。

ずっと聞きたかった、ずっと聞けなかった



【イードのおくりもの】  
著:ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ 光村教育図書  
イードのおまつりのために家族へのおくりものを買いに来たイスマト。そこで自分用に買った売れ残りのズボンが思わぬハプニングを引き起こすこととなり...

互いを思いやる微笑ましい家族の物語



【このあいだになにがあった?】  
著:佐藤 雅彦+ユーフラテス 福音館書店  
このあいだになにがあった?と思わず言いたくなること間違いなし! 2枚の写真の間に一体何があったのか、想像しながら読んでみてください!

変化が楽しい想像力を育む1冊



【香菜とななつの秘密】  
著:福田 隆浩 講談社  
話下手な香菜と、転校生の広瀬がさまざまな謎を解いていく。だけど広瀬には、誰にも言えない秘密があって...。謎を解くうちに成長していく香菜に心打たれる1冊。

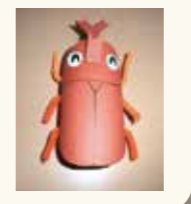
謎を解いたら、少し前向きになれる物語

## イベント情報

### おはなし会と工作会 「トイレットペーパーのしんでかぶとむし」を作ろう!

絵本の読み聞かせをするおはなし会の後に、工作会を行います。ハサミを使った作業はないので、小さなお子さんでも安心して参加できます。

- ▶とき 8月19日(土) 午前10時30分～
- ▶ところ 塩原図書館
- ▶対象 小学生以下
- ▶参加費 無料 ※申し込み不要。
- ▶問い合わせ 塩原図書館



### 市民大学連携講座「文学歴史散歩」参加者募集

中世には古河公方こがくほうの本拠地となり、近世には有力譜代大名が治めた古河。その奥深い歴史や文化、ゆかりの文学について学びます。

- ▶とき 10月1日(日) 午前8時30分～午後6時
- ▶ところ 茨城県古河市 ※古河歴史博物館 ほか。
- ▶対象 市民 ▶定員 29人
- ▶参加費 無料 ※入館料などの実費負担あり。
- ▶その他 事情により、見学先の一部が変更となる場合があります
- ▶申込期間 8月26日(土)～9月2日(土)
- ▶申し込み・問い合わせ 西那須野図書館

▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。  
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

ちっちゃな自然  
みつけた



夏の盛りに  
～オヤマボクチ～



オヤマボクチ(蕾) 撮影日時:2015.8.5 撮影場所:大峠

オヤマボクチって

キク科  
Synurus pungens

山地の道沿いに生え、高さは1～1.5mになる。茎頂に直径約4cm程度のアザミのような暗紫色の頭花をつける。頭花にはクモの糸のようなものが見られる。



三本槍岳方面の雲海

8月になりました。皆さん、夏の暑さに負けていないでしょうか。私は4月からの新しい生活に慣れてきて、充実した日々を過ごしています。仕事に行ったり山に行ったり、少しだけ畑で野菜を作ったりしています。

野山は初夏の花が終わり、夏から秋の花が咲いています。平地にも花は咲いていますが、この時期は比較的高い山に咲いている高山植物がお薦めです。日射しは暑いのですが、時折吹いてくる爽やかな風はとても気持ちのいいものです。特に、大峠は以前と比べると、すぐく行きやすくなりました。今の時期の大峠には、ハクサンフウロ、アキノキリンソウ、ウスユキソウ、ヒメシャジン、ウメバチソウなどが咲いています。

今回は、山でよく目にするオヤマボクチを紹介します。オヤマボクチは、花が咲くとアザミのように見えます。また、葉はゴボウのようです。実際、地方によってはヤマゴボウと呼んでいたります。オヤマボクチの「ボクチ」とは漢字で書くと「火口」。火起こしの時に葉の裏の細かい毛を使ったことによるそうです。また、その細かい毛を蕎麦のつなぎに使ったり若葉を餅に入れたりする地方もあるようです。

オヤマボクチの葉は大きいもので40cmにもなります。葉の裏は白っぽく、細かい毛が密集しています。珍しい花ではありませんが、ぜひ見ていただけたらと思います。

おさむ

編集後記

大 恐竜展取材のために博物館に行くと、夏休みに入った子どもたちがたくさんいました。やはり男の子の割合が多いようで、恐竜は昔も今も変わらず彼らを惹きつける魅力を持っているようです。私が子どものころはこの地域で恐竜を見ることがなんてできなかったの、今の子どもたちがとても羨ましく感じました。(平石)

今 回の裏表紙で紹介している那須疎水旧取水施設。平成18年に国の重要文化財に指定され、当時、そのことを紹介する記事を作ったなあと、ふとそんなことを思い出しました。歴史好きの私にとって10年を経て再びこの文化財の記事を担当することになり、不思議なめぐり合わせを感じる今日このごろです。(興野)

【お詫びと訂正】  
7月20日号の次の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
○14ページ  
市民大学・地域歴史講座「塩原の歴史と文学」  
(誤) 午後1時30分～3時30分  
(正) 午前9時～正午

なすしおばら  
珍百景

あなたの"珍"を募集中

＜応募方法＞

方法① きらきらホット  
なすしおばらに投稿  
珍百景投稿用フォームに  
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話  
☎(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。  
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。  
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。  
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。  
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

とっくり  
椿の木に徳利!?



投稿者 磯飛 義夫さん(60代男性 西三島)  
撮影場所 自宅の庭にて(撮影日 H29.6)

草むしりをしていたら庭木からスズメバチが出てきました。中を見たらきれいな徳利の形をした巣。この形の巣を作るのはスズメバチでは1種だけで、5～6月の作り始めでしか見られない形だそうです。成長を見守りたい気持ちもありましたが、巣の成長とともにハチも増えるので泣く泣く駆除しました。

行政情報アプリ「広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!

マチを好きになるアプリ  
マチイロ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

- 役立つ行政情報を見逃さない!
- 自分に合わせた情報が届く!
- いろいろなマチの魅力をお届け!

ダウンロードはこちらから

App Store / Google Play

※「広報紙」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要があります。 ※アプリの使用は無料ですが、通信料は各回線ごとのご負担となります。 ※広告が表示されますが、各自治体とは関係ありません。

マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

お手数ですが  
62円切手を  
貼ってください

3 2 5 8 5 0 1

那須塩原市役所  
シティプロモーション課  
「広報なすしおばら係」行

ご住所

那須塩原市

※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。

フリガナ  ペンネーム   
お名前  (希望者のみ)

☎電話

年齢  歳 性別  男・女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる  応募しない

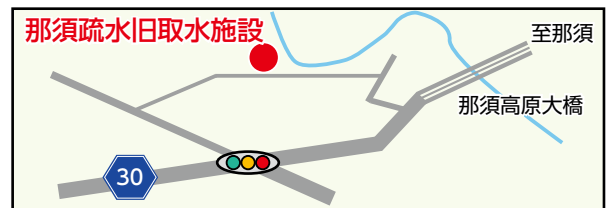


私のまちの  
**近い遺産**

指定を受けるのも大変なんです…

「那須疏水旧取水施設 (東・西隧道)」  
国指定重要文化財 追加指定ウラ話

平成28年11月5日号の広報なすしおばらに、那須疏水旧取水施設の「東・西隧道」が国指定重要文化財に追加指定となった記事が掲載されたのを覚えていますか？「近い遺産・第2回」は、皆さんおなじみの那須疏水旧取水施設にまつわるお話です。



Topic 1

附(ついたり)指定って何??

東・西隧道の追加指定と併せて、当時の建築図面などが「附(ついたり)指定」となっています。附指定とは、指定された文化財の歴史的な価値を証明するものとして指定されるものです。

Topic 2

開拓を今に伝える市民劇団!

創作劇「那須野の大地」を知っていますか。この劇を上演するためだけに結成された市民劇団「劇団なすの」による、笑いあり・涙ありの感動の物語。毎年少しずつ演出を変えていて、「以前見た」という人でも楽しめる内容です。劇中、隧道工場のシーンもあります。ぜひご覧ください。

「那須野の大地」公演

- ▶とき 9月17日(日) 午後1時・午後5時の2回開演
- ▶ところ 三島ホール
- ▶観覧料 無料(入場券が必要)



那須野の大地(市HP)

平成18年に国の重要文化財に指定された那須疏水旧取水施設には、当時未調査の部分がありました。平成26年度に第2次調査を実施し、未調査だった西隧道(トンネル)と東隧道の内部に潜入しました。現在は使われていない「隧道」という閉鎖的な空間であることに加え、水没しているエリアがあることなどから、事前に文書の調査や現地確認を行い、入念な準備を行いました。水没しているエリアの調査は、「水中文化遺産カメラマン」により実施。4回もの水中調査により、隧道内部の様子が分かりました。ちなみに、隧道内の水

位は那珂川の水位と関連があるという想定から、川の水位が低くなる時期に実施しましたが、水位が低くなるのは冬。凍り付くような冷たい水の中に潜るといって、過酷な調査になりました。こうした調査の結果、隧道がほぼ完全な姿で残されていることが判明し、東西の両隧道が追加指定されたのです。また今回の調査では、切石による美しいアーチや当時の先端技術であったセメントの導入など、明治期の土木技術の高さも知ることができました。先人たちの不屈の精神には頭が下がるばかりです。